



映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

2組 40番 名前 依田 穂花

【映画】 happy - しあわせを探すあなたへ

【レビュー】

タイトルからも分かる通り、「しあわせ」についての映画である。
私たちは日々「しあわせ」を探し求めている。

「しあわせ」になることが人生の目的だと言っても、過言ではない。さあ、この映画は、私たちに幸せの答えを与えてくれるだろうか。

まず初めに驚くべきことは、幸福度の半分は遺伝で決まるということ。それに対して、職業、財産、健康などの生活要因はたったの1割しか起因しないということ。幸福度の鍵となるのは残りの4割。これらは日々の行動に委ねられている。

世界中のいろんな生活を送るさまざまな人がクローズアップされる。ルイジアナ州のツアーガイドのおっちゃん、サーフィンをこよなく愛す男性、かつての美貌と引き換えに新たな「しあわせ」を手に入れた女性。
正直、彼らの人生は私が思い描いていたしあわせな人生とは遠いものだった。

幸福度の向上は、もはや社会全体で取り組むべき問題であると感じた。「Karoshi」という英単語を生み出してしまおうような日本と、「しあわせ」と言われる国々とはどのような差があるのか。

幸せの国プータンでは、GNHに重きを置いている。科学技術の発達も、必ずしも国民を幸せにできるとは限らないのである。
デンマークは世界で最も幸せな国と呼ばれている。国民への補償の水準が高い。また、コウハウジングは沢山のメリットがある。是非日本でも取り入れていくべきだと感じた。

長生きにも繋がる「しあわせ」。沖縄の穏やかな文化と地域色は、たしかに幸せを体現しているように思う。
マイケル・プリチャードの講義は衝撃的だった。そして感動的だった。

ナミビアの民族の生活を私は受け入れることができない。病院に行けば正しい治療が受けられる。しかし、村人全員で行うヒーリングの儀式は心を健康にする力を持つようだ。

死を待つ人々の家、自分にもできることがあるという気づき。男性が見つけた、銀行でのキャリアより、人生においてやるべきだと感じた仕事。今までの私の中の常識とは反するものだった。

幸せとは物質的に満たされることではない。
そんなメッセージが随所に込められている。
そうは言っても、やっぱり物質的に満たされれば安心感を持つことできて幸せなのではないか。
自分のやりたいことを貫けば、本当に「しあわせ」になれるのか。これを見終えて、疑問がないわけではない。

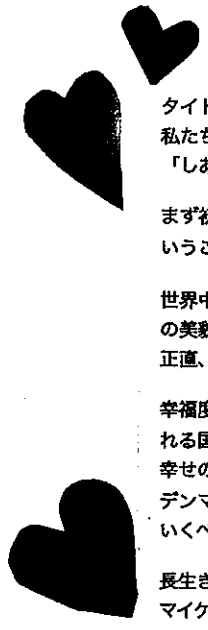
ただ、「しあわせ」が人との繋がりの中で生まれるということに関しては、強く同意する。
ふとした時、家族や友人との関わりの中で、自分の居場所はここだと再認識することがある。自分が周囲に認められ、存在意義を感じられる瞬間。その幸福感といったらもう、物なんかでは到底敵わない。これは、ナミビアの民族の儀式と通じるものがあるかもしれない。

映画の中にはちょっと極端な例もある。それに、脳だ、ドーパミンだ、なんて言ったら結局のところ、幸せははっきりと目に見えるものじゃない。やっぱり映画の中には賛同しかねる意見も含まれていた。私は映画を見て、幸せとは何か、その明確な答えを見つけることはできなかった。
しかし、この映画は沢山の「しあわせ」のヒントが散りばめられていた。

新しい発見があり、視界が開けた感覚があった。
私たちの望む「しあわせ」とはどんなものなのか。
きっとあなたにも新たな気づきを与えてくれるだろう。新たな視点を与えてくれるだろう。

だからこそ、私はこの映画を強く勧めたい、

「しあわせを探すあなたへ」





映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

3 組 27 番 名前 足田 彩乃

【映画】

『happy - しあわせを掴むあなたへ』

【レビュー】

この作品は、文字通り「幸せとは何か」を解き明かすために作られています。幸せについてとても論理的に説明されていて、世界各国の様々な人々やエピソードが紹介されています。この作品を通して、人は誰でも幸せになれるという事を学びました。

何よりも驚いた事は、「幸福度」に関する研究において、人が幸福であると感じるのは、「遺伝」で感じるものが50%、財産・職業・地位・健康といった「環境」によるものほった10%しかないのだと科学的に紹介されていた事でした。残りの40%は自分の行動によって幸福だと感じる事ができるというのです。具体的に紹介されていたのは、「エクササイズ」、「フロー体験」など、様々なものがありました。これからの自分次第で「幸福」になる事ができるといふ、強い希望を持つ事ができました。

この映画では、様々な人が紹介されていたのですが、メリッサさんと、教育者のマイケルさんのエピソードが特に印象に残りました。

メリッサさんは、大変美しい女性で、申し分のない充実した生活を送っていたのですが、トラックにひかれて顔面がぶつねってしまった事で、すべてが変わってしまいます。夫に離婚され、過去の虐待の記憶も蘇り、自殺まで考えますが、「今は子供たちに必ずとされている」と思いとどまります。完璧主義だった過去の自分から、そのま今の自分で良いと自分を受け入れ、全てを受け入れることで心は平安に戻ったそうです。「今の私は皆より幸せ」と言い切る彼女の強さにとっても感動しました。

マイケルさんは「愛すること」を子供たちに教えています。中学校で子供たちを相手に、様々なエピソードを紹介し、「心の目で見極める事」を伝えていきます。中でも、実際にいじめられている子が、生徒達みんなの前でつらいと告白し、その「本当の勇気」を尊敬し誇りにするシーンは本当に良かったと思えました。

人が「幸せ」になるためには...

本当の自分に気づき、好きな事をして、家族や友人を大切に、他人に親切な行為を行い、持っているものに感謝する。

様々な事が紹介されましたが、私は「愛すること」が出来る事が大切なのではないかと思えました。



映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

7組 22番 名前 津谷 聡花

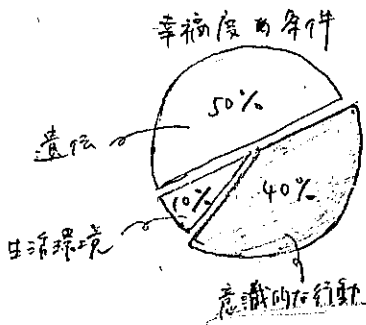
【映画】

happy - しあわせを掴む者たちへ

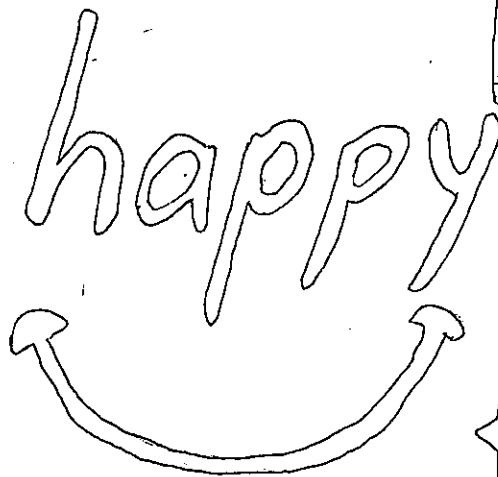
【レビュー】 本当の幸せとは何か??

abstract

私には何が幸せに感じられるか、より多くの金や名声を得ようとするが、本当にそれ以外の物質的な要素は、人間は幸福に存在するのだろうか? 人間にとっての本質的な価値と達成感にはどう関係があるのだろうか?



私を含め、人の幸福は周りの環境に左右されると思われ、その要素は10%しか入らない。自分意識的行動は、自分自身でコントロールできる。遺伝は環境の中で、自分の考えや気持ち次第で、幸せに感じられる。それはコントロールできる。



Summary

この映画を通して、人間が幸せに生きることが本当に必要なのは、それを達成するために必要なことではない、自分自身、自分の心と愛と人との関わりを大切にすることだ。何事も思い通りにいかないことがあっても、それはそれでいい。同じように自分自身でコントロールできること、それは、人生の課題を乗り越えるための鍵だ。

関わりと幸せ
人は家族や社会の中で
他人との関わりの中で
幸福を築いていく。これは
時代、高齢者や若者の
孤立が進む日本では
幸福度は低い。これは
思えば、紹介された
テーマの解決は、
解決する1つの手段に
なるかもしれない
と思う。